

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	保育内容言葉の指導法	担当者名	前中 香
授業の概要	幼児の言葉に関する現状や課題を踏まえた上で、『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』で示された領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める。そのうえで、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。				
科目の到達目標	・領域「言葉」のねらい及び全体構造を理解し、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解する。また、小学校の教科等とのつながりを理解し、幼稚園教育における評価の考え方を理解する。 ・幼児の心情、認識、思考等を視野に入れた保育構想の重要性を理解する。また、指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成し、実践後は振り返りを通して保育を改善する視点を身に付ける。				
DPの観点	②表現力(20) ③柔軟性(10) ⑥専門知識・技能(30) ⑦思考力(30) ⑧実践力(10)				
授業時間外学修（予習・復習）	予習: 授業内容のテーマ・内容を確認し、事前に30分～1時間程度テキストの通読及び製作の準備をする。 復習: 学習した内容について30分～1時間程度、テキストや配布資料を振り返る。				
フィードバックの方法	授業内の課題を添削・講評し返却する。				
単位認定の要件	総合評価が定められた基準に達していることが単位認定の条件である。				
評価の方法・割合（％）	①授業内活動・積極的参加(10%) ②製作(10%) ③課題 (30%) ④模擬保育(30%) ⑤レポート(20%)				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			保育における「言葉」とは？-領域「言葉」のねらい及び内容	⑥	ミニッツペーパー
2			子どもの言葉の発達過程(1)－言葉を生む基盤と話し言葉の発達の筋道	⑥⑦	ミニッツペーパー
3			子どもの言葉の発達過程(2)－書き言葉の発達の道筋と小学校における書き言葉	⑥⑦	製作・ミニッツペーパー
4			言葉を育む環境構成と援助(1)－話したい、聞きたい意欲を生む援助と絵本のPOP製作	⑥⑦	ミニッツペーパー
5			言葉を育む環境構成と援助(2)－生活に必要な言葉の習得を支える援助	⑥⑦	ミニッツペーパー
6			言葉を育む環境構成と援助(3)－言葉のすれ違いやうまく伝わらないもどかしさへの援助	⑥⑦	ミニッツペーパー
7			言葉を豊かにする環境構成と援助(1)－言葉による伝え合いを育む援助	⑥⑦	ミニッツペーパー
8			言葉を豊かにする環境構成と援助(2)－文字などで伝える楽しさを生み出す援助	⑥⑦	ミニッツペーパー
9			子どもの言葉を豊かにする教材: 児童文化財(絵本・紙芝居など)の実践と保育の中での活かし方	⑥⑦	ミニッツペーパー
10			言葉に対する感覚を豊かにする実践・言葉遊びの実践と保育の中での活かし方	②③⑥⑦⑧	ミニッツペーパー
11			子どもの言葉を育む保育の実践－保育実践もしくは模擬保育に向けての保育観察と教材研究	②⑥⑦	ミニッツペーパー
12			子どもの言葉を育む保育構想－領域「言葉」に関する具体的な保育場면을想定した指導案の作成	②⑥⑦	指導案
13			子どもの言葉を育む保育の実践－保育実践もしくは模擬保育の実施	②③⑥⑦⑧	ワークシート
14			子どもの言葉を育む保育の評価と改善－保育実践もしくは模擬保育の振り返り	⑥⑦	ワークシート
15			まとめ: 子どもの言葉を育み、豊かにする保育実践－「言葉」をめぐる現代的課題と特別な配慮が必要な幼児への指導を踏まえた「言葉」に関わる保育実践・期末課題	⑥⑦	レポート
期末試験			実施しない		

使用テキスト	保育学生のための「幼児と言葉」「言葉指導法」(ミネルヴァ書房)
参考文献 参考URL	保育内容指導法「言葉」－乳幼児と育む豊かなことばの世界－(建帛社)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--